

いつも市民の目線で!!

# “山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成21年2月号 (第68号)

## 上・下水道の統合

### 議会の決議で緊急課題に

昨年十二月定例市議会で「平成二十一年四月から下水道使用料を平均で二〇・四％引き上げる」ことを主な内容とする条例案が賛成多数で可決されました。

#### 下水道値上げに付帯決議

しかし、この条例案を審議した建設水道常任委員会では「この厳しい社会情勢の中で更に市民の皆さんに負担を求めるのなら、行政は、上・下水道の統合などこれまで以上の事務事業の見直しを行うべきである」などの厳しい意見が出されました。  
そして、審議の結果、次の付帯決議を付けて賛成多数で可決しました。  
〈付帯決議の内容〉  
①低所得者等の負担軽減を

講じること。  
②事務事業の更なる見直しを図り、上・下水道のあり方等についても抜本的な検討を行うこと。

#### 統合は全国的な流れ

上・下水道の統合については、市役所内部では異論もあるようですが、事務事業の効率化の観点から避けて通れないことです。

そして、すでに全国八〇六市のうち二二〇市（二七

### 第31回 山さんのミニ市政報告会

○日時 2月28日(土)  
午後7時30分～  
○場所 池田中町公民館  
◎どなたでもお気軽にご参加ください!

### 山さんのプロフィール



姓名 山崎 菊雄 (やまさき きくお)  
昭和24年 富山県氷見市に生れる  
昭和47年～ 寝屋川市に在住  
昭和48年 関西大学法学部卒業  
元・守口市役所職員  
元・若葉町自治会長  
元・池田校区福祉委員長  
元・二中地区社明委員長  
平成15年 寝屋川市議会議員に初当選 (現在2期目)  
現在 建設水道常任委員会委員  
枚方寝屋川消防組合議会議員

・三%)で上・下水道が統合されており、また、大阪府内においても、三三市のうち、すでに

堺市、豊中市など十三市が統合を実施しており、枚方も現在統合に向けて準備中と言われています。

## 市駅周辺に駐輪施設オープン

私は、これまで議会で京阪寝屋川市駅前の放置自転車問題をとり上げ、駐輪場の確保を訴えてきました。そして、この度ようやく2月2日から、アドバンスねやがわ1号館・2号館周

辺にラック式の駐輪施設(自転車二九四台分、原付バイク一〇台分)がオープンすることになりました。これからも、議会活動を通じて駐輪施設の増設に努力してまいります。

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

TEL. 072-829-1900 E-mail. genkina@k-yamasan.com

大きな声で、元気なあいさつ!!  
山さんのあいさつ運動

# 山さんの一般質問 (Q&A)

十二月一日～一八日の三日間、十二月定例市議会の一  
般質問が行われました。

私は十二月一日の一般質問で、次の主旨の質問を行いました。  
(前号のつづき)

## 三・市民参加行事の見直しについて

【山さんの質問】  
寝屋川まつりやクリーンロード、寝屋川・元氣・夢まつりなどの行事に、毎回たくさん  
の市民の皆さんがスタッフ等で参加している。

そして、寝屋川まつりのTシャツやクリーンロードの帽子などを、毎年スタッフや参加者に支給している。  
市財政が益々厳しくなることが予想される中、毎年支給するのを見直すべきではないか。

### 【理事者答弁】

今後、スタッフや参加者の皆さんの方で「必要ない」との申し出があれば、配布しないように致します。

また、その他の市民参加の行事についても、見直しを行います。無駄があれば改めてまいります。

## 四・ハトと野良猫対策について

### 【山さんの質問】

駅前広場や公園で、餌をやる人がいるため「ハトが群がり、糞で憩いの場所が汚れて困る」との苦情をよく聞く。

また、住宅街や近くの公園で、野良猫に餌を与える人がいるため「泣き声や糞やおしっこ匂いが臭い」などの苦情をよく聞く。

市は、どのように対処しているのか。

### 【理事者答弁】

ハト対策につきましては、駅前広場や公園内に餌を与えないよう啓発看板を設置するなど、適切な維持管理に努めてまいります。

また、野良猫対策につきましては、平成一七年度から所有者不明猫に去勢手術補助金の繁殖を段階的に抑制し、良好な生活環境の保全に努めてまいります。



建設水道常任委員会で行政視察中の山さん  
(今年1月29日・東京都葛飾区内)

### 山さんの「コラム」

## あなたの時計の速さは？

私はいま五九歳。最近とくに感じるのだが、年齢と共に時間や月日が経つのがずいぶん早くなった気がする。

これは人の受売りだが、十代の人の時計は時速一〇キロくらいの速さで、二十代は二〇キロ、三十代は三〇キロ・・・そして、六十代は時速六〇キロの速さで時計の針は回るものらしい。

そう言えば、小中学校の頃は二学期がずいぶん長く、まだかまだかの想いで冬休みを待っていたことを思い出す。今はあつという間に一日が終わり、あれよあれよと言っている間に一カ月、一年が経ってしまう気がする。

実際は十代であろうと六十代であろうと違う筈が無いのだが・・・。自分に残された時間はそんなに長くはないだろう。「時の無駄」をなくし、もっともっと時間を大切にしたいと思う。